

科目名		授業形態	担当教員名	
電気電子工学実験		実験	今川 雄大・後藤 祐輔・波多野 樹・安田 大輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
45 時間（1 単位）		23 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
講義で習得した知識を実験により直接体験することによって確実に身につける。 実験技術を習得するとともにこれを習熟する。 実験項目は、実験A：テスタ及びオシロスコープの取扱い、実験B：電球の特性試験、実験C：共振回路、実験D：トランジスタの共通エミッタ接続における静特性、実験E：電源整流回路、実験F：サイリスタの位相制御特性				
授業の到達目標				
基本的な事項の理解と関連実験技術の習得を目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	実験ガイダンス		16	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
2	実験説明		17	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
3	実験説明		18	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
4	実験A・実験B・レポート準備と作成		19	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
5	実験A・実験B・レポート準備と作成		20	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
6	実験A・実験B・レポート準備と作成		21	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
7	実験A・実験B・レポート準備と作成		22	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
8	実験A・実験B・レポート準備と作成		23	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成
9	実験A・実験B・レポート準備と作成			
10	演習・レポート作成指導			
11	演習・レポート作成指導			
12	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成			
13	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成			
14	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成			
15	実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	100%	提出期日厳守。レポートの内容を評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載		各項目後に課したレポートと受講態度を加味して評価する。		
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
実験説明は教室にて行うが、実験では各班に分かれて各実験室で実施する。				